



福島西ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

2026-27年度

会長：寺島英樹

幹事：穴戸順一

例会場：ウェディングエルティ

第2回例会 クラブ協議会

- 開会点鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング「我らの生業」
ソングリーダー 松林克次会員
- お客様 並びに ビジター紹介
- 会長挨拶 佐藤宗弘副会長
- お食事
- 幹事報告
- 委員会報告
プログラム・出席・スマイルボックス小委員会報告
佐藤慶行会員
黒澤信之監督
- 野球部より
＊年会費の案内
＊14日(火)練習案内
＊18日(土)福島地区懇親会
佐藤(宗)会員・黒澤会員出席
- 本日のプログラム
クラブ協議会 議長：佐藤宗弘副会長
＊各委員長より
 - ①青少年奉仕小委員会 宮崎秀剛小委員長
 - ②S A A 佐藤慶行会員
 - ③国際奉仕小委員会 大平謹一郎小委員長
 - ④ロータリー財団委員会 高橋智弘委員長
 - ⑤会員増強委員会 黒澤信之委員長
 - ⑥社会奉仕小委員会 黒澤信之小委員長
 - ⑦米山記念奨学会小委員会 黒澤信之小委員長
 - ⑧職業奉仕小委員会 朝倉久仁男小委員長
- 閉会点鐘



開会点鐘
佐藤宗弘副会長



ソングリーダー
松林克次会員



野球部より
黒澤信之監督

● 会長挨拶 佐藤宗弘副会長



皆さん、こんにちは。今年度、副会長として1年間務めさせていただきます。こうした中で巡ってきた会長代行ですが役員・理事の皆様をはじめ、会員の皆様の絶大なるご協力をいただき、会員一人ひとりが成長し、つながり(親睦)を大切に、知恵を出し合いながら、我がクラブの魅力をより一層高める奉仕活動、和やかで楽しい例会にしていきたいと思っております。寺島会長不在の期間、誠心誠意努めてまいりますので、よろしくお願い致します。

話は変わりますが、4年前に幕内優勝を飾り、右膝の怪我で一時は幕下まで落ち、その後、小結で迎えた先場所、見事に復活優勝を果たした若隆景。不屈の精神とはまさに、この人のためにあると思いますが皆様もご承知のとおり、左大腿部外傷性コンパートメント症候群で2カ月の加療安静により名古屋場所を休場されました。なぜ、土俵の神様はつらく当たるのか。楽観は出来ない状況ですが一日も早い回復を祈るばかりです。

本日のプログラムは各委員長による今年度の方針について発表いただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

【幹事報告】

- ・当クラブ次週20日の例会は、祝日(海の日)のため休会となっておりますのでご注意ください
- ・年会費等上期分につきまして、追ってご案内いたしますので宜しくお願いいたします
- ・本日、7月理事会議事録・8月プログラム案内について発信いたしますので、出欠のご返信方宜しく願います
- ・役員・理事の方々におかれましては恐れ入りますが例会終了後、お残りいただきますよう宜しくお願いいたします

青少年奉仕小委員会 宮崎秀剛小委員長



青少年に対する啓発活動は、地域社会や国家の未来を支える「人づくり」の根幹を成すものであり、ロータリーが長年にわたり大切にしてきた使命の一つです。価値観が多様化し、国際社会において分断や対立が顕在化する現代においてこそ、次代を担う若い世代が、互いを尊重し、協調しながら未来を切り拓いていく力を育むことが求められています。そのためにも、青少年への教育・啓発は単なる支援活動にとどまらず、地域と世界の平和と発展に直結する最重要課題であると考えます。本年度は、RI会長メッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」の精神を実践し、寺島会長の基本方針に沿って、青少年が健全な心身を育み、社会の一員として自立していくための環境づくりに力を注ぎます。また、青少年奉仕委員会をはじめ、社会奉仕・国際奉仕など関係する各委員会と連携し、クラブ全体として一体感を持って取り組むことで、より大きな成果と継続性のある活動を目指します。

〈活動計画〉

- 1 福島RC主催事業 「第6回 スポGOMI大会 in ふくしま」への参加・協力
- 2 社会奉仕委員会事業 「第29回 福島西RC杯少年野球大会」運営への協力
- 3 地区事業 RYLA研修会への参加協力 ※会員事業所への従業員参加協力をお願い
- 4 その他 青少年の健全育成に関わる各種プログラムに積極的に取り組む

SAA 佐藤慶行 会員



2026-2027年度 福島西ロータリークラブ会長方針「3-yearsの集大成と継承」及び、具体的重点目標の実践実行を目的として、会員一人ひとりが安心して参加することが出来るとともに、誇りと連帯感を持つことが出来る例会運営を目指します。また、SAAとして例会の秩序と品位を守るだけでなく、会員同士の交流促進、参加しやすい雰囲気づくり、新会員が自然に溶け込める環境整備に努めると共に、例会を「奉仕の理念を共有する場」「仲間とのつながりを感じる場」「居場所を実感できる場」と位置づけ、明るく活気のあるクラブづくりに貢献できるように活動を行って参ります。

【活動方針】

- 1.品位と親しみのある例会運営：ロータリーらしい節度と礼節を大切にしながら、笑顔と温かさのある例会運営の為、会員・ゲストへの積極的な歓迎対応を行う事により参加しやすい雰囲気づくりを徹底する。
- 2.会員同士の「つながり」を深める：出席会員へ積極的な声掛けを行う。また、適切な席次決定をすることにより、新会員や出席歴の浅い会員との交流促進が出来る様に配慮を心掛ける。
- 3.例会活性化への協力：会長・幹事・各委員会と連携し、魅力ある例会づくりへの協力をおこなうことにより出席率向上につながるような雰囲気づくりに努める。

◆まとめ◆

[SAA基本姿勢]：SAAは単なる例会運営ではなく、クラブ例会の雰囲気をつくる重要な役割であることを自覚し、「参加して良かった」「また来たい」と感じられる例会づくりに努めます。会員相互のつながりを深め、奉仕の理念を共有しながら、福島西ロータリークラブが地域に誇れる、活力あるクラブとなるよう一年間尽力して参ります。

国際奉仕小委員会 大平謹一郎小委員長



今年度、国際奉仕小委員会はロータリーの中核的価値観である「奉仕」・「親睦」・「多様性」・「高潔性」・「リーダーシップ」に基づき、国際社会における友好・理解の促進と、持続可能な国際支援活動を推進することを目的とします。

今年度の地区運営方針に準じて特に、地域クラブとしてのスケールを生かした具体的かつ実行可能な国際奉仕活動に注力し、クラブメンバー全体の国際意識の向上を目指します。

【活動内容】

- 1.ポリオ根絶活動推進協力のため公共イメージ・R財団・社会奉仕委員会との連携による寄付活動の促進に努める。
- 2.社会奉仕小委員会と連携し地区開催の各合同セミナーへの参加・協力を行う。
- 3.米山記念奨学生を受け入れ世話クラブとしてカウンセラーと共に米山記念奨学会小委員会の活動推進の支援を行う。
- 4.会長の年度方針を踏まえ、各委員会との連携のもと地区・分区・他クラブの取り組みなどの情報交換を積極的に行い、遂行に努める。

ロータリー財団委員会 高橋智弘委員長



ロータリー財団委員会では、会員皆様からの寄付が無ければ、いろいろなロータリー活動ができません。その活動を支えるために、年次基金目標が年間一人150ドル以上の寄付を目指しています。福島西ロータリークラブでは基本的には、年二回クラブ会費と一緒に寄付しておりますが、個人的に自分のペースで寄付していただく方法もあります。この寄付金の総額

によって、三年後に地区補助金として、福島西ロータリークラブが使える金額が決まるので、会員の皆様にはご理解いただき、できるだけ多くの寄付をお願いしたい。またロータリーが行っているポリオ根絶活動についてもご理解をいただき、年間一人30ドル以上の寄付を目標としています。寄付方法は、年次基金と同じ寄付方法ですので、できるだけ多くの寄付をお願いいたします。

入会年数が浅い会員の方には、個別に説明もいたしますので、できるだけ理解をしていただき寄付をお願いしたいと思っております。以上でロータリー財団委員会の計画説明を終了します。

会員増強委員会 黒澤信之委員長 社会奉仕小委員会 黒澤信之小委員長 米山記念奨学会小委員会 黒澤信之小委員長



【会員増強委員会】クラブの持続的な発展のためには、新たな仲間を迎え入れるとともに、現在の会員が魅力と誇りを持って活動を継続できる環境づくりが不可欠です。2026-27年度は、会長方針である「3-yearsの集大成と継承」のもと、会員増強と退会防止を両輪として活動を展開いたします。また、DEI（多様性・公平性・開放性）の理念を踏まえ、女性や若手経

営者、専門職など幅広い人材との接点を積極的に広げるとともに、クラブの魅力や奉仕活動の意義を発信しながら、地域に必要なとされる活力あるクラブづくりに努めてまいります。

【目標・方針】

- ①会員増強・会員選考：会員一人ひとりの協力のもと入会候補者の発掘を進め、多様な職業・世代・性別の人材を迎え入れることで会員純増3名以上を目指す。また、候補者について人格・職業・社会的信用等を十分に検討し、適正な会員選考を行う。
- ②職業分類：クラブの職業分類を点検し、未充足分野や将来性のある分野について情報収集を行い、バランスの取れた会員構成の実現を図る。
- ③ロータリー情報：会員候補者および新会員に対し、ロータリーの理念や活動内容を分かりやすく伝えるとともに、入会後のオリエンテーションやフォローアップを充実させ、定着率の向上に努める。

【活動計画】

- 会員候補者リストを作成し、委員会及び会員間で情報共有を図る。
- 会員へ候補者推薦を依頼し、計画的な勧誘活動を実施する。
- 女性会員、若年層及び専門職会員の増強に向けた情報収集と働きかけを行う。
- 新会員に対するメンター制度を継続し、円滑なクラブ活動参加を支援する。
- 長期欠席者や出席率低下会員とのコミュニケーションを図り、退会防止に努める。
- 炉辺談話や交流機会を活用し、会員相互の親睦とクラブへの帰属意識向上を図る。
- クラブの奉仕活動や魅力を積極的に発信し、入会候補者との接点拡大に努める。

【社会奉仕小委員会】社会奉仕は、地域社会のニーズに応え、ロータリークラブの存在価値と公共イメージを高める重要な活動であります。2026-27年度は、クラブテーマ「3-yearsの集大成と継承」のもと、地域社会に対し継続的かつ効果的な奉仕活動を実践するとともに、福島西ロータリークラブの看板事業である「福島西ロータリークラブ杯少年野球大会」を中心に、青少年の健全育成と地域スポーツ振興に取り組みます。また、地区補助金を活用しながら地域社会へより大きなインパクトを与える事業の展開を図るとともに、様々な奉仕活動を通じて県北第一分区内クラブとの連携と交流を深め、ロータリーのネットワーク強化にも努めてまいります。

【活動計画】

1. ロータリー奉仕デーへの積極的な参加及び協力
2. 第29回福島西ロータリークラブ杯少年野球大会の開催
 - ・市内中学校野球部を対象とした大会の開催
 - ・地区補助金を活用した魅力ある大会づくり
 - ・開会式における特別ゲストの招聘など、青少年に夢や感動を与える企画の実施
 - ・参加選手及び関係者との交流を通じたロータリー活動の理解促進
 - ・野球同好会を有する二本松ロータリークラブの協力を得ながら、大会運営の充実とクラブ間交流の促進を図る

- 【活動方針】 3. 薬物乱用防止啓発活動への参加及び協力
 4. 地域社会のニーズに応じた奉仕活動の調査・研究
 5. 米山記念奨学生及び関係委員会との連携による奉仕活動の推進
 6. 奉仕活動を通じたクラブの公共イメージ向上と活動内容の積極的発信

【数値目標】

1. 社会奉仕事業への会員参加率50%以上
2. 福島駅西口周辺清掃活動参加者15名以上
3. 第29回福島西ロータリークラブ杯少年野球大会の成功裡開催
4. ロータリー奉仕デーへの積極的参加
5. 地区補助金を活用した地域社会へのインパクトある事業の実施
6. 県北第一分区内クラブとの連携及び交流の促進

【米山記念奨学会小委員会】 米山記念奨学事業は、日本のロータリー独自の国際奉仕活動であり、外国人留学生への支援と交流を通じて国際理解と親善を深め、世界平和の実現に寄与することを目的としている。2026-27年度は、クラブテーマ「3-yearsの集大成と継承」のもと、米山記念奨学会への理解を深めるとともに、奨学生との交流を通じてロータリーの国際奉仕の意義を共有し、クラブの存在価値とインパクトの向上につなげる。また、寄付への理解と協力を促進し、地区目標及びクラブ目標の達成を目指す。

【活動計画】

1. 米山記念奨学会の目的及び活動内容について会員への情報提供を行い、理解の促進を図る。
2. 10月の米山月間を中心に、米山記念奨学事業の周知と寄付への協力を呼びかける。
3. 米山記念奨学生への奨学金給付を適切に実施する。
4. 米山記念奨学生による卓話を年2回程度実施し、国際理解を深める機会を設ける。
5. 米山記念奨学生を例会、親睦活動及び奉仕活動へ積極的に招聘し、ロータリー活動への理解と会員との交流を深める。
6. カウンセラー及び関係委員会と連携し、奨学生が安心して学業に専念できる環境づくりに努める。

【数値目標】

1. 普通寄付 会員一人当たり 5,000円・特別寄付 会員一人当たり 5,000円以上
2. 米山功労者 1名以上
3. 米山記念奨学生受入れ 1名
4. 米山記念奨学生の例会・クラブ事業への積極的参加



スマイルボックス
佐藤 慶行 会員

●佐藤宗弘会長

黒澤会員におかれましては先日開催の米山奨学生卓話研修会に出席いただき、有難うございました。本日のプログラムは委員長による年度方針の発表となります。よろしくお願いいたします。

●穴戸順一幹事

第2回目例会です。まだ緊張していますが、よろしくお願いします。

●宮崎秀剛会員

佐藤副会長、会長代理お疲れ様です。穴戸幹事、支えていただきありがとうございます。本日中座します。

黒澤信之／佐久間政文／佐藤慶行／高橋智弘／高梨哲男
松林克次／野尻榮一

職業奉仕小委員会 朝倉久仁男小委員長



ロータリーの五大奉仕の一つである「職業奉仕」はロータリーの原点とも言われる重要な分野です。会員の皆様と共に職業倫理や地域社会への貢献の在り方を改めて見つめ直し、再発見できるよう研修・活動を積極的に推進していきたいと思いますので、皆様のご指導・ご協力をお願いいたします。

【活動計画】

- ①ロータリーの倫理基準であり、職業奉仕の実践的指標である「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」の唱和をそれぞれ毎月交互に実施する。
- ②職業奉仕月間に職場訪問例会を実施する。
- ③会員の職業奉仕実践に貢献した優良従業員の表彰を要望により実施する。
- ④職業奉仕に対する理解を深める為の卓話を実施する。
- ⑤地域社会の発展を目指し、自らの職業の質を高め貢献する。